

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		喜納 育江	所 属	国際沖縄研究所	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	①共通教育英語科目:英語講読演習上級, ②法文学部英語文化科目:ライティングI、現代アメリカ文学、卒論指導(通年)2名; ③人文社会科学研究科5科目:国際言語特別演習I/II(修士論文指導1名)、アメリカ女性文学概論および演習;総合演習(博士後期), 博士学位論文指導1名;④総合環境学概論(環境副専攻TMティーチング)		0.20	①共通教育英語科目:英語講読演習上級, ②法文学部英語文化科目:ライティングI、現代アメリカ文学、卒論指導(通年)2名; ③人文社会科学研究科5科目:国際言語特別演習I/II(修士論文指導1名)、アメリカ女性文学概論および演習;総合演習(博士後期), 博士学位論文指導1名;④総合環境学概論(環境副専攻TMティーチング)、以上に加え、本学主催「びぶりお文学賞」審査員。	
研究	0.30	①文科省特別経費プロジェクト「沖縄ジェンダー学の創出」の運営実施; ②マイノリティアメリカ人文学研究(基盤研究C:2年目); ③交感論研究(基盤B:研究分担、2年目); ④翻訳や研究論文の出版 ⑤国内外での学会発表⑥文学・環境学会、アメリカ学会等学会活動		0.25	目標設定欄の研究プロジェクトを順調に進めた。研究発表: ①アメリカ学会第47回年次大会部会「ポピュラー・カルチャーと北米先住民」のパネリスト、②ALADAA(アルゼンチン・ラプラタ大学) "Surviving in Contact: A Border Theory for Okinawa." 出版:『沖縄ジェンダー学:「伝統」へのアプローチ』第1巻(大月書店)を編著。査読: <i>Comparative Literature Studies</i> (U.S.A.), 『クワイア叢論』、アメリカ学会清水賞、 <i>Social Process in Hawai'i</i> (U of Hawai'i-West O'ahu)。	
社会貢献	0.10	①地域社会からの協力依頼(翻訳事業、派遣留学等審査員)には積極的に対応できるようにする; ②一般財団法人「竹村和子フェミニズム基金」理事・審査員③学術的貢献(論文査読、各種審査員)		0.20	①沖縄県高校英語スキットコンテスト審査員、②第4回英語音声教育研修講座指導教員、③一般財団法人「竹村和子フェミニズム基金」理事・審査員、④沖縄タイムス新沖縄文学賞一次審査委員。以上に加え、男女共同参画シンポジウム「女性力で社会の活性化を～男女が生き生きと暮らせる社会をめざして」基調講演(主催 沖縄県男女共同参画センター管理団体)、平成25年度人権啓発講演会トークセッション講師(沖縄県、法務局主催)。	
管理運営	0.20	①うない研究者支援センター長、②男女共同参画室員、③NOS編集委員; ④地域貢献推進委員; ⑤法文学部英語文化専攻オープンキャンパス・広報委員; ⑥人文社会科学研究科運営委員(研究科長が必要と認める者); ⑦その他、大学の要請には可能な限り対応する。		0.20	①うない研究者支援センター長、②男女共同参画室員、③NOS編集委員; ④地域貢献推進委員; ⑤人文社会科学研究科運営委員(研究科長が必要と認める者); ⑦その他、大学の要請には可能な限り対応する。以上の業務に加え、「とんがりプロジェクトチーム」(大学の強みワーキンググループ)委員、「スーパグローバルプログラム」タスクフォース委員を務めた。	
進路指導	0.20	① 法文学部国際言語文化学科英語文化夜間主4年次指導教員; ② 卒論指導4名; ③修論指導1名; ④博士論文指導1名; ⑤その他、留学や奨学金のための推薦書をはじめ、学生から要望のある進路相談には出来る限り対応する。		0.15	① 法文学部国際言語文化学科英語文化夜間主4年次指導教員; ② 卒論指導4名; ③修論指導1名; ④博士論文指導1名; ⑤その他、留学や奨学金のための推薦書をはじめ、学生から要望のある進路相談には出来る限り対応する。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		藤田 陽子	所 属	国際沖縄研究所	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	①法文学部担当科目および人文社会科学研究科博士前期課程担当科目について、シラバスに従って授業を実施し、終了時には授業評価アンケートを実施する。 ②環境学副専攻構成員としてその教育に携わるとともに、必修科目「総合環境学概論」の1コマ分を担当する。		0.20	①法文学部専門科目「基礎演習Ⅰ」「Ⅱ」「環境経済学(昼・夜)」「資源経済学(昼・夜)」を担当し、授業評価アンケートを実施して講義の改善に活かした。 ②環境学副専攻教員として共通教育科目「総合環境学概論」(1コマ分)を担当した。 ③人文社会科学研究科博士前期課程の科目担当教員となっているが、経済システム領域の入学者がゼロであったため、科目の履修者はいなかった。	
研究	0.30	①文部科学省特別経費事業「新しい島嶼学の創造-日本と東アジア・オセアニア圏を結ぶ基点としての琉球弧」のプロジェクト・コーディネーターを務める。 ②科学研究費補助金研究課題(基盤研究(B))「米軍基地による環境変化が与える自然および社会的影響に関する複合的研究」(H24-H26、研究分担者3名)の研究代表者として研究の遂行に努める。 ③JST・JICA共同事業である地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)の「サンゴ礁島嶼系における気候変動による危機とその対応」研究担当者としてパラオにおける調査研究を遂行する。 ④生活経済学会理事として学会運営に携わる。		0.35	①「新しい島嶼学の創造」プロジェクトのコーディネーターとして事業を推進し、2回の国際シンポジウム等を開催(内1回のワークショップではファンリレーターを務める)と、書籍『島嶼地域の新たな展望 自然・文化・社会の融合体としての島々』(編著者代表)を出版した。また、書籍の前書きおよび終章「自然・文化・社会の融合体としての島嶼地域と「新しい島嶼学」の展望」を執筆した。 ②科研費(基盤B)「米軍基地による環境変化が与える自然および社会的影響に関する複合的研究」の研究代表者を務め、12月に国際シンポジウムを開催するとともに、報告「軍事基地による環境損失の経済的評価」を行った。 ③パラオにおけるSATREPSプロジェクトのPIとして現地調査を計2回行うとともに、3月に現地で開催した公開ワークショップ“Integrated discussion on the connectivity between nature and human society”において報告“Economic benefits of environmental conservation: Influences to tourism and fishery”を行った。 ④生活経済学会理事として学会運営に携わった。 ⑤総合地球環境学研究所共同研究員として「アジア太平洋における生物文化多様性の探究-住民参加による次世代への生態知継承を目指して(責任者:大西正幸)」の研究活動に参画した。	
社会貢献	0.10	①各種審議会・委員会等の委員就任依頼等に対し、専門家としての知識を社会に還元する必要がある限り応じる。		0.10	①沖縄県環境審議会委員、沖縄県景観形成審議会委員、沖縄県沖縄型海岸整備指針検討委員会委員、沖縄地方労働審議会委員、沖縄市温暖化対策実行計画策定委員会委員として地域貢献に取り組んだ。	
管理運営	0.30	①国際沖縄研究所長として、同所の運営管理に努める。 ②研究推進戦略室構成員として、本学の戦略的研究推進に努める。 ③法文学部教授会・人文社会科学研究科委員会構成員としての役割を果たす。		0.35	①所長として研究所の運営管理および研究推進全般を統括し、円滑な業務・事業の推進に取り組んだ。 ②研究推進戦略室構成員として会議への出席、各種研究費応募課題の審査等に当たった。 ③法文学部教授会・人文社会科学研究科委員会構成員として会議出席の義務を果たした。 ④管理運営に関する自己点検・評価委員会委員として該当する中期目標・中期計画の検討に携わった。	
進路指導	0.10	①法文学部併任教員および人文社会科学研究科科目担当教員として、学生から進路に関する相談を受けた場合は適切に対応する。		0.00	①ゼミ履修者がいなかったため、直接の進路指導に関わる機会はなかった。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		